



江別ユネスコ協会事務局だより 2020年5月20日号

◇江別ユネスコ協会事務局/067-0074江別市高砂町 24-6 教育委員会生涯学習課内(担当:見上 ☎381-1069)

中国・福州市で開催予定の第44回世界遺産委員会は延期！

4月14日、ユネスコ本部は2020年6月29日から7月9日までの日程で、中国福建省の福州市で開催する予定だった第44回世界遺産委員会を、延期することを発表しました。中国における新型コロナウイルス蔓延のピークを迎えた春節（1月25日）ころから、その推移を見守ってきたユネスコ本部は、開催を希望する中国側と協議を重ね、最終的にはWHO（世界保健機関）のエビデンス（国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態）に従い、中国の合意を取り付けて、世界遺産センターのメリル・ロスラー所長が延期を決断しました。延期後の対策は検討中のことです。

世界遺産候補「奄美・沖縄」の登録審査は先送りになります

この第44回世界遺産委員会において、日本政府が推薦した「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」の登録が審議される予定でしたが、先送りになったわけです。この委員会開催の6週間前までに出されることになっていた諮問機関IUCN（国際自然保護連合）による事前勧告の提出も遅くなる可能性があります。

ユネスコの職員からもコロナ感染者が出て、無形文化遺産、世界の記憶（記憶遺産）、ユネスコエコパークなど遺産関連事業の重要会議が軒並み中止・延期となり、さらに多くの関係機関が本部を置くパリが都市封鎖された影響で、その機能がほとんど停止しており、復旧には相当の時間が掛かりそうな現況です。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の登録は2022年以降か？

第44回世界遺産委員会の開催が延期になったため、今後の委員会の再開時期によっては、2021年の登録審査が予定されている「北海道・北東北の縄文遺跡群」にも影響が及ぶものと思われ、2020年夏季に予定されているユネスコの諮問機関ICOMOS（国際記念物遺跡会議）による現地調査は、まだ具体的な計画が示されていません。日本の文化庁は、2022年の登録をめざして「金を中心とする佐渡鉱山の遺跡群」の推薦準備を進めており、その後「彦根城」と「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」を推薦する意向のようですが、今後の世界遺産委員会の開催状況によっては、登録審査に大幅な遅れが出ることが予測されます。

日本ユネスコ協会連盟の事務局は5月末まで閉鎖しています

公益社団法人・日本ユネスコ協会連盟の事務局は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月末まで閉鎖されることを前号でお知らせしましたが、その後、東京都における感染の鎮静化が確認できない状況から、5月末まで閉鎖期間を延長することになりました。会員の皆様からのお問い合わせは、次のメールアドレス宛にお願い致します。nfuaj@unesco.or.jp

「使用済み切手」と「書き損じハガキ」の回収運動にご協力を！

江別ユネスコ協会は、世界遺産活動を支援する「書き損じハガキ」の回収活動と、海外医療奉仕活動を支援する「使用済み切手」の回収活動を長期的に実施しています。会員、市民の皆様のご協力をお願いします。回収したハガキ・切手は、枚数にこだわらず当協会事務局へお届けください。

なお、感染症防止等の点をご心配の方は、情況がやや安定してからお届け頂いて結構です。

